

授業科目	病因と病態 I				科目区分	選択必修科目		
担当教員	(世話人) 相島 慎一 教授				単位数	1単位		
授業概要	<p>主要な疾患の病因と病態を理解するために、循環障害、炎症、免疫、感染症の病理発生、転帰を学ぶ。 (To understand the etiology and pathophysiology in major diseases, you learn about the general pathology and fates of circulatory disturbance, inflammation, immunologic disease, and infectious disease.)</p>							
全体の教育目標	生体の主要な疾患の病因と病態を正しく把握・理解するために必要な基本的な知識を身に着ける。							
個別の学習目標	病理学的専門用語を理解し、それを用いて疾患の成り立ちと病態を説明できる。							
授業計画	回	月日	曜日	時限	授業内容	担当教員	講義室	
	1	4/15	月	4	循環障害 ①組織の恒常性維持における循環機序の役割を理解する。 ②循環破綻による病変を理解する。	中川 和憲 講師 病理病態学	総合研究棟 2階 205 セミナー室	
	2	4/22	月	4	血栓症 ①血栓の生理的・病理学的意義を理解する。 ②血栓形成機序とその素因を理解し、病態への転帰・影響を理解する。	中川 和憲 講師 病理病態学	総合研究棟 2階 205 セミナー室	
	3	5/13	月	4	炎症 ①炎症の定義、炎症細胞の種類とメディエーターを理解する。 ②炎症の経過とそれに影響する要因を理解する。	中川 和憲 講師 病理病態学	総合研究棟 2階 205 セミナー室	
	4	5/20	月	4	動脈硬化症 ①動脈硬化の成り立ちを理解する。 ②動脈硬化関連疾患を列記し、それらの病理学的特徴を説明できる。	中川 和憲 講師 病理病態学	総合研究棟 2階 205 セミナー室	
	5	5/27	月	4	血管新生 ①正常・病的血管の構造を理解する。 ②血管新生を制御する各種液性因子(血管新生因子)の機能を理解する。	鬼丸 満穂 助教 病理病態学	総合研究棟 2階 205 セミナー室	
	6	6/3	月	4	感染症 ①病原微生物の種類や感染経路の違いを理解する。 ②感染症と起炎菌の関係を理解し、抗菌薬の作用を理解する。	鬼丸 満穂 助教 病理病態学	総合研究棟 2階 205 セミナー室	
	7	6/10	月	4	腫瘍免疫と最新の治療 ①免疫学の基礎を理解する。 ②疾患、特に移植・腫瘍免疫に関する免疫応答と治療戦略を理解する。	米満 吉和 教授 薬学研究院	総合研究棟 2階 205 セミナー室	
テキスト	なし。ただし回により補助的に資料プリントを配布する。							
参考書	病理学 遠城寺宗知監修 医学書院 ルービン カラー基本病理学 西村書店							
成績評価の方法	授業の受講態様(質疑応答など)をふまえ総合的に判断する。私語など不適切な受講状況はマイナス評価で採点する。3回以上の欠席は、成績評価の対象外(履修資格喪失)とする。							
その他								